

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年2月20日（月）

2 確認箇所

大熊通り排水路改造工事現場（1、2号機超高压開閉所北側、大熊通り）

3 確認項目

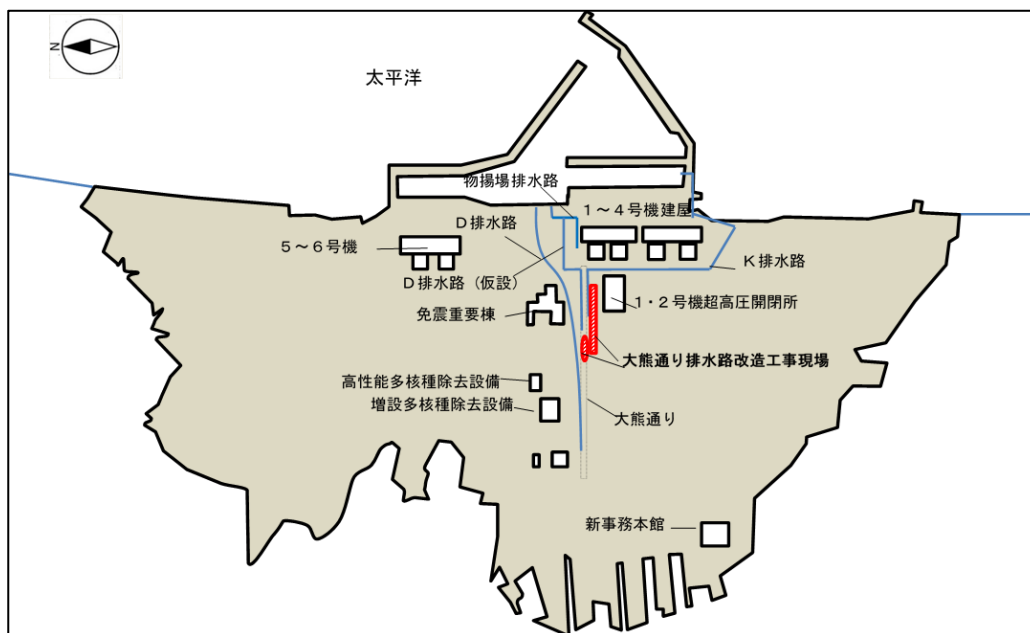
大熊通り排水路改造工事の状況

4 確認結果の概要

D排水路（推進工）は、33.5m盤から1～4号機建屋周辺に流れ込む雨水による浸水リスクを低減するために設置され、昨年8月30日に運用が開始された。東京電力では、1～4号機建屋周辺の浸水リスクのさらなる対策として、1、2号機超高压開閉所周辺エリアの雨水をK排水路や1～4号機建屋側に流下させずにD排水路を通じて排水するために、大熊通り排水路改造工事を進めていることから工事の状況を確認した。

（図1）（前回確認：[令和4年10月17日](#)）

- ・前回確認時に、1、2号機超高压開閉所北側（大熊通り側）で行われていた排水管の埋設工事は終了しており、掘削箇所は埋め戻しされて簡易舗装されていた。（写真1）
- ・同様に、1、2号機超高压開閉所北側の法肩から大熊通り（法尻）までの排水路（小口径推進工）の設置工事も終了しており、大熊通りの発進立坑は、資機材が撤去されて敷鉄板が敷設されていた。また、1、2号機超高压開閉所北西側の到達立坑は、埋め戻しされてアスファルト舗装されていた。（写真2）
- ・1、2号機超高压開閉所北側の法尻（大熊通り南側）に設置されている1、2号機超高压開閉所周辺エリアの雨水をK排水路に導水していた仮設排水管の一部が撤去されていた。（写真3）
- ・東京電力によると、昨年11月29日からのD排水路における遠隔による放射能濃度等の連続監視の運用開始にあわせて、1、2号機超高压開閉所周辺エリアの雨水を暫定的にD排水路に接続したとのことである。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)

1, 2号機超高压開閉所北側の状況
① (前回(令和4年10月17日)西側から撮影)



(写真1-2)

1, 2号機超高压開閉所北側の状況
② (今回(2月20日)西側から撮影)



(写真 2 - 1)
発進立坑の状況① (前回(令和4年10月17日)北側から撮影)



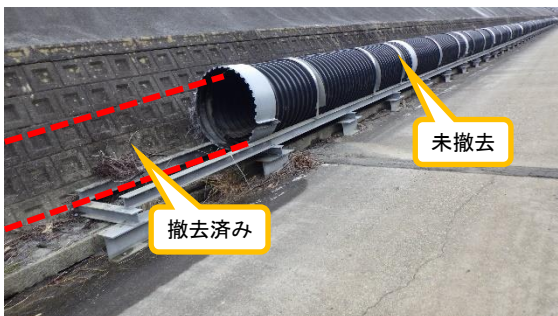
(写真 2 - 2)
発進立坑の状況② (今回(2月20日)北側から撮影)



(写真 2 - 3)
到達立坑の状況① (前回(令和4年10月17日)南側から撮影)



(写真 2 - 4)
到達立坑の状況② (今回(2月20日)南側から撮影)



(写真 3)
仮設排水管の撤去状況 (北東側から撮影)

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。